



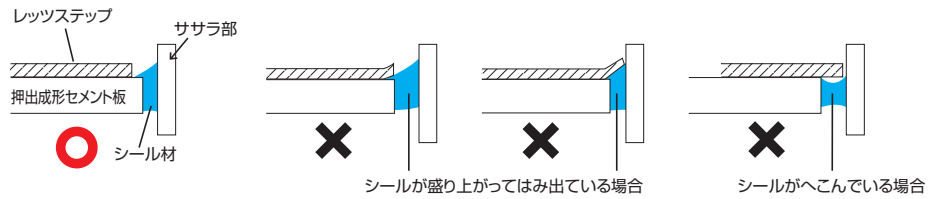
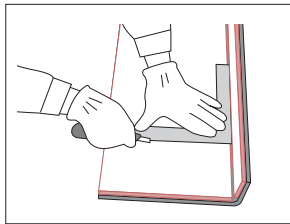
下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。  
**使用前保管時・施工時・養生時** ① 5℃以下(気温・下地)にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと

## 1. 下地の清掃

- **施工前には高圧洗浄などで必ず下地の洗浄を行い、十分に乾燥させてください。**
- 砂・塵埃などを除去してください。

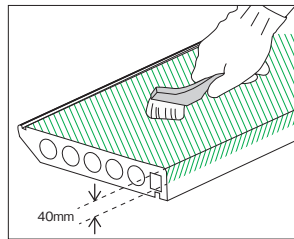
## 2. 裁断

- スケール、直定規で階段の幅・奥行・前垂れ部の寸法を測定し、レッツステップを裁断してください。押出成形セメント板の端部にシーリング材が施してある時はシーリングに乗り上げない寸法で裁断してください。



## 3. 下地用プライマーの塗布

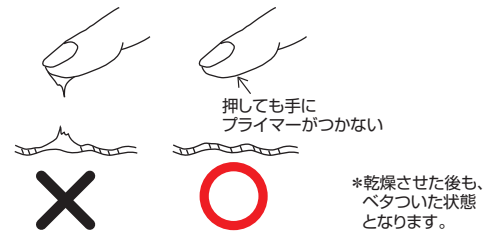
- 図のように、踏み面全面と前垂れ部(段鼻から40mm)にレッツステップ専用プライマーを中毛ローラーやハケで均一に塗布し、**10~20分乾燥**させてください。



### 注意

- 塗布面は汚さないように注意し、汚れが付着した場合は再度塗布してください。
- 直射日光により変色する場合がありますので、施工部からはみ出さないように塗布してください。
- 乾燥状態は指触して確認してください。**(乾燥させた後もベタついた状態となります。)**
- 1日以上乾燥させないでください。(塗布の効力は1日です。)翌日の貼り付けとなる場合には再度塗布する必要があります。

### 指触による乾燥時間の目安



### <レッツステップ専用プライマー>

|                  |  |               |          |
|------------------|--|---------------|----------|
| オープンタイム(20℃)     | 10~20分   | 貼り付け可能時間(20℃) | 1日(24時間) |
| 標準使用量(レッツステップSW) | 11段/缶(900タイプの場合) 9段/缶(1,000タイプの場合) 8段/缶(1,200タイプの場合) |               |          |

- 蹴込みシートも同時に施工する場合は、蹴込み部にもレッツステップ専用プライマーを塗布してください。
- すでに蹴込みシートなどを施工している場合、製品にレッツステップ専用プライマーが付着しないように注意してください。(付着汚れの原因となります。)

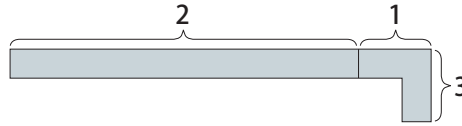
## 4. 貼り付け



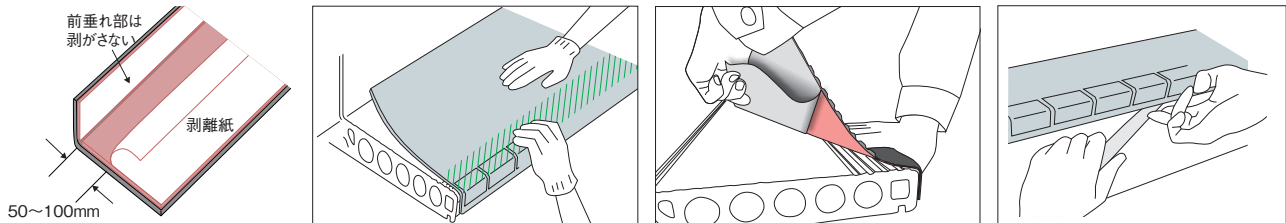
### 注意

- **5℃以下(気温・下地)では施工できません。(両面テープの初期粘着力が低下するため)**
- **一度貼った製品は貼り直さないでください。(粘着強度が低下します。)**
- いずれの場合も、段鼻部の位置決めは特に慎重に行ってください。

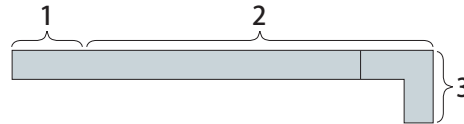
### その1: 段鼻→踏み面→前垂れの順に貼る方法



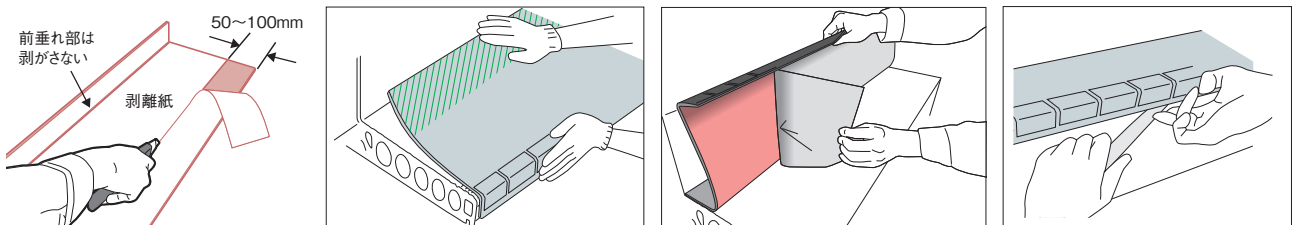
- ① 踏み面の両面テープ剥離紙を、段鼻部から50～100mm程度折り返してください。(前垂れ部の剥離紙はまだ剥がさないでください。)
- ② 折り曲げ部を階段の段鼻部に当てがい、①で剥がした部分(50～100mm程度)だけを貼り付け、コーナーローラーなどで直ちに圧着してください。
- ③ 貼り付けた部分(②の段鼻部)を押さえて位置がずれないように注意し、踏み面の両面テープ剥離紙を手前から少しずつ剥がしながら、踏み面部分をゆっくり貼り付け、コーナーローラーなどで直ちに圧着してください。
- ④ 最後に、前垂れ部の両面テープ剥離紙を剥がして前垂れ部を貼り付けてください。



### その2: 入隅部→踏み面→前垂れの順に貼る方法

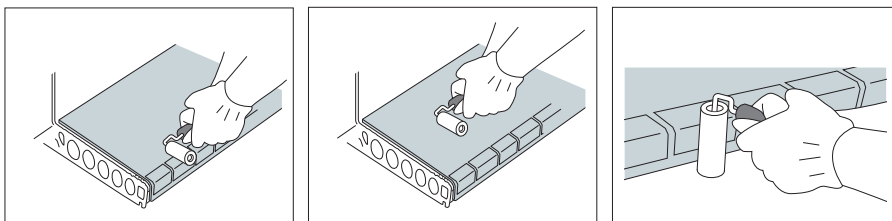


- ① 踏み面の両面テープ剥離紙を、端部から50～100mm付近でカットして剥がしてください。(強く切りすぎてレッツステップの裏面をカットしないように注意してください。)
- ② 折り曲げ部を階段の段鼻部に当てがい、位置がずれないように押さえながら、①で剥がした部分(50～100mm程度)だけを貼り付け、コーナーローラーなどで直ちに圧着してください。
- ③ 貼り付けた部分(②入隅部)の位置がずれないように注意しながら、踏み面部の両面テープの剥離紙を静かに剥がし、踏み面部分を奥から手前にかけてゆっくりと貼り付け、コーナーローラーなどで直ちに圧着してください。
- ④ 最後に、前垂れ部の両面テープ剥離紙を剥がして前垂れ部を貼り付けてください。



## 5. 圧着

- レッツステップ全面をハンドローラーやコーナーローラーで十分に圧着してください。(手や靴による圧着不可)
- 特にコーナー部や端部・前垂れ部の圧着をしっかりと行ってください。
- 前垂れ部は、エンボス部分(上半分)とフラット部分(下半分)をそれぞれ圧着してください。



## 6. 清掃

- 施工終了後、製品残材・剥離紙・梱包紙などを片付けて清掃をしてください。

試験データ  
P.196

法規関連  
P.218

工法・下地  
P.229

施工手順  
P.247

接着剤・  
副資材  
P.314

副資材  
品番一覧  
P.328

メンテナンス  
注意  
P.333